

平成28年3月1日

第5回技術委員会 議事要旨

技術委員会 事務局

1. 開催日時： 平成28年3月1日（火） 13：30～15：30
2. 場 所： I R I D事務局（東京都港区西新橋 2-23-1 3 東洋海事ビル 5 階）
3. 出席者：
技術委員： 岡本委員長、浅間委員、瀧口委員、朽山委員、山中委員、渡邊委員
I R I D： 劔田理事長、菅沼専務理事、及川理事、桑原部長、高守部長、他

4. 議事概要： 概要は下記の通り。

- (1) 劔田理事長挨拶の後、技術委員会の役割に関して説明がなされた。
- (2) 前回議事録が確認された。
- (3) 組織体制の変更の説明、新任部長の紹介がなされた。
- (4) 討議

I D R（IRID Design Review）の導入、進行中のプロジェクトの重要課題、I R I Dの国際連携活動、人材育成活動、I R I Dシンポジウムに関して、説明、討議がなされた。委員から、下記ご意見をいただいた。

- デザインレビューの導入は良い試み。5つの共通課題（ゴール、情報発信、意思決定、ニーズ、安全の考え方）に対する取り組み状況を全てのプロジェクトについて纏め、次回の技術委員会で報告すること。
- 透明性を確保するために、失敗経験や技術評価をきちんと情報発信すること。
- ロードマップのスケジュールに乗せた開発を実現するために、エンド（戦略プランのマイルストーン）に向けた整合性のあるストーリーの構築が重要。デザインレビュー等によりI R I D内で共有した課題について、廃炉事業全体を決めるためのフィードバックとしてNDFや国に伝えること。
- 燃料デブリについては少しでも情報を得ることが重要。特にまず燃料デブリを見ることが大事。既存の内部調査プロジェクトに固執せずに次善の策も合わせ実現手段を検討すること。
- I R I Dの持つ現場課題と人材育成を組み合わせると現場指向型P B L（Project Based Learning）が実現できる。
- 耐震性については、静的地震力（3Ci）とスロッシングの影響について評価すること。

- (5) 岡本委員長総括

岡本委員長より、「廃炉研究が着実に進められているのは評価できる。I D Rの導入は良かった。今後も、ニーズを踏まえた対応とフィードバックをお願いするとともに、NDF

と連携して、IRIDで開発をしっかり俯瞰してほしい。」との総括をいただいた。

(6) 閉会挨拶

剣田理事長から閉会の挨拶がなされた。

以 上